

## 島根県内の看護師のキャリア・ニーズと修士課程看護学専攻に対する認識

(看護職/キャリア/大学院教育)

内田宏美\*・津本優子\*・小林裕太\*・樽井恵美子\*・長田京子\*・小野田 舞\*  
上岡澄子\*\*・三瓶まり\*\*・高田晃平\*\*・佐藤和子\*\*・矢田昭子\*\*・大森眞澄\*\*  
小倉之子\*\*・笠柄みどり\*\*・佐野和子\*\*・佐藤美紀子\*\*・原 祥子\*\*\*・小野光美\*\*\*  
沖中由美\*\*\*・中谷久恵\*\*\*・藤本比登美\*\*\*・勅使河原 薫\*\*\*・廣野祥子\*\*\*・村松恵子\*\*\*

## Recognition Among Nurses in Shimane for the Career Development and the Master Course of Shimane University

(nurse / master course / career development)

Hiromi UCHIDA\*, Yuko TSUMOTO\*, Yuta KOBAYASHI\*, Emiko TARUI\*, Kyoko OSADA\*  
Mai ONODA\*, Sumiko UEOKA\*\*, Mari SANPEI\*\*, Kohei TAKATA\*\*, Yoshiko SATO\*\*  
Akiko YATA\*\*, Masumi OHMORI\*\*, Yukiko OGURA\*\*, Midori KASAGARA\*\*, Kazuko SANO\*\*  
Mikiko SATO\*\*, Sachiko HARA\*\*\*, Mitsumi ONO\*\*\*, Yumi OKINAKA\*\*\*, Hisae NAKATANI\*\*\*  
Hitomi FUJIMOTO\*\*\*, Kaoru TESHIGAWARA\*\*\*, Sachiko HIRONO\*\*\* and Keiko MURAMATSU\*\*\*

The aim of this study was to define the recognition for the career development and the nursing master course of our university among Shimane prefecture nurses. We analyzed data from 1,507 nurses. Rate of recognition about each course of our master program was 20% for nurses. Recognition of the day and night classes, long-term course, and the requirement for the entrance examination was 23%, 11%, 27%, respectively. We found that the information about our master course was not spread throughout nurses in their workplaces. Though there were 217 nurses who met the requirement for the entrance examination of the master course, there were only 20 nurses who hoped to go to our master course. Many applicants of the master course wished to become a specialist of oncology nursing, critical patients care and so on, while continuing their present job. They also wanted a support system to be organized by their hospitals or institution.

島根県内の看護師のキャリア・ニーズと本学医学系研究科修士課程看護学専攻に対する現状認識を明らかにし、キャリア支援の検討資料とすることを目的として、協力の得られた県内30機関の1,959人の看護師（保健師・助産師を含む）を対象にアンケート調査を実施した。回収した1,507名について分析を行った結果、修士課程の各コースの認知度は20%前後、昼夜開講制は23%、長期履修制度は11%、受験資格は27%で、現場の看護師の認知度は非常に低いことが明らかとなった。大学卒業者、保健師・助産師等の受験資格を有する看護師は217名であったが、その内、修士課程への進学希望者はわずか20名であった。逆に、現行の受験資格は満たさないが、修士課程への進学を希望する者が61名あった。進学希望者は、在職のままがん看護や重症者ケアなどのスペシャリストを志向する者が多く、職場の支援体制の整備を求めている。

\*島根大学医学部基礎看護学講座 Department of Fundamental Nursing, Faculty of Medicine, Shimane University  
\*\*島根大学医学部臨床看護学講座 Department of Clinical Nursing, Faculty of Medicine, Shimane University  
\*\*\*島根大学医学部地域看護学講座  
Department of Community Health Nursing, Faculty of Medicine, Shimane University

### I. はじめに

看護基礎教育の場が3年課程の専門学校・短期大学から4年制大学へとシフトしつつある今日、大学院修士課程は、専門職としてのキャリア発達を支える場として機能することが期待されている。島根県内唯

一の本学医学系研究科修士課程看護学専攻（以後、修士課程と称す）は、地域の保健医療ニーズに対応した高度専門職業人を育成する社会的責任を担う。しかし、複雑な基礎教育背景を持つ看護職のキャリア・ニーズの実態は明らかでなく、ニーズに対応した卒後教育が準備されているとは言い難い。そこで、島根県内の看護師（保健師・助産師を含む）のキャリア・ニーズ、および、修士課程に対する認識の実態を明らかにし、修士課程の課題を検討する。

## II. 方 法

### 1. 対象者

看護部長から調査実施の同意の得られた島根県下の30機関の看護師1,959名。

### 2. 調査期間

平成20年7月1～22日

### 3. データ収集方法

看護部長から文書による同意を得た後、配布と回収を施設毎に依頼した。訪問看護ステーションと老人保健施設の対象者からは個別郵送により回収した。

調査内容は、年齢・取得免許・看護基礎教育背景などの属性7項目、志向するキャリアの種類5項目、修士課程の認知と進学希望の有無とその理由など11項目とした。

### 4. 分析方法

背景および本学大学院に関する認知度について単純集計を行い、クロス集計により大学院への進学希望の有無、受験資格要件、機関・施設の規模によるキャリア・ニーズを分析した。

### 5. 倫理的配慮

島根大学医学部看護研究倫理審査委員会による承認後、施設・機関の看護部長の文書による同意を得て実施した。調査は無記名とし、個別に封書で回収した。調査票に調査の目的、方法、個人のプライバシーは守秘されること、個人や施設が特定されないような形で結果を報告書や学会に公開すること等についての説明文を添付し、回答をもって研究への同意とした。

## III. 結 果

回収数1,507、有効回収率76.9%であった。

### 1. 修士課程に対する認知

開設されている専門分野のコースについて認知度は、施設間で0～30%とばらつきが見られ、全体としてはいずれの分野も20%前後であった。昼夜開講制度は全体の平均では23.2%だが、施設による認知度の差が大きかった。長期履修制度は0～28%の幅があり全体では10.8%と、他の項目に比べて認知度が低かった。受験資格については他の項目に比べて認知度が高かったが、全体で27.0%、最も高い施設でも42.9%であった。（表1）

### 2. 目指すキャリアの方向性

全体集計では、ジェネラリストとしての実践能力の向上を目差すとした者が14.3%、特定の分野でのスペシャリストを志向する者が18.5%、看護管理者を目差す者が4.9%で、40%程度が何らかの形のキャリア志向性を持つ一方、残りは、キャリアをどう積み上げるかが定まっていない、考えていないという現状であった。

### 3. 看護学修士課程への進学希望

#### (1) 受験資格要件と進学希望

修士課程への進学希望者を、大卒以外に、保健師、助産師、認定看護師、看護学校教員養成研修終了等、6ヶ月程度の卒後教育経歴を一つでも満たす者を「受験資格あり」とし、資格が重複する場合は大卒を優先して一人1資格として分類した。有資格者は全対象者の14.4%に当たる217名で、そのうち本学の修士課程への進学希望者は20名にすぎなかった。その一方で、受験資格要件を満たさないが進学を希望する者が61名存在した。（表2）

#### (2) 進学希望者の背景

##### 進学を希望する理由

修士課程への進学希望者に複数回答を求めた進学を希望する理由で最も多かったのは「専門分野の知識を深めたい」55名、次いで「在職のまま進学できる」46名、「修士の学位が得られる」34名で、仕事を続けながらの進学を望む者が多かった。（表3）

##### 希望する専門分野

受験資格の有無にかかわらずスペシャリストを志向する63名が希望する専門看護師 Clinical Nurse Specialist（以下、CNS）養成分野の内訳の上位は、がん看護16名、急性・重傷者ケアと在宅看護が各8名、老人看護が7名であった。これを、受験有資格者16名に絞ってみると、がん看護7名、急性・重症者ケア3名、母性看護2名であった。（表4）

表1 施設別にみた本学看護学専攻修士課程に関する認知度

上段：度数(人)

下段：対象者計に占める“知っている”の割合(%)

		専門分野に対する認知度					制度に対する認知度			対象者計
		看護管理技術学	母子看護学	成人看護学	地域在宅看護学	高齢者看護学	昼夜開講制	長期履修制度	受験資格	
施設	A	74 26.1%	84 29.8%	89 31.6%	96 34.0%	92 32.6%	143 49.7%	81 28.3%	98 34.0%	296 100.0%
	B	74 18.4%	74 18.5%	75 18.7%	71 17.7%	65 16.2%	71 17.5%	29 7.2%	93 23.1%	414 100.0%
	C	39 14.9%	46 17.8%	44 17.0%	43 16.6%	46 17.8%	41 15.6%	14 5.4%	52 20.1%	270 100.0%
	D	25 19.7%	22 17.5%	20 15.9%	20 15.9%	19 15.1%	23 18.1%	6 4.7%	46 35.7%	132 100.0%
	E	20 24.4%	22 27.2%	20 24.7%	15 18.5%	16 19.8%	24 28.6%	8 9.6%	28 33.3%	84 100.0%
	F	9 25.7%	13 37.1%	11 31.4%	8 22.9%	8 22.9%	4 11.4%	2 5.7%	10 28.6%	35 100.0%
	G	4 12.5%	4 12.5%	3 9.4%	2 6.3%	2 6.3%	2 6.3%	0 0.0%	8 25.0%	33 100.0%
	H	7 29.2%	5 20.8%	5 20.8%	5 20.8%	5 20.8%	7 28.0%	4 17.4%	9 39.1%	25 100.0%
	I	6 11.1%	5 9.3%	5 9.4%	5 9.3%	5 9.3%	6 11.1%	3 5.6%	8 14.8%	56 100.0%
	J	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	3 15.0%	3 15.0%	3 14.3%	2 9.1%	5 22.7%	22 100.0%
	K	8 11.0%	12 16.7%	11 15.3%	17 23.6%	10 13.9%	13 17.8%	5 6.8%	24 32.4%	78 100.0%
	L	0 0.0%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	0 0.0%	1 7.1%	3 21.4%	14 100.0%
	M	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	10 100.0%
	N	4 13.8%	7 24.1%	6 20.7%	9 31.0%	7 24.1%	2 6.9%	0 0.0%	5 17.2%	30 100.0%
	O	1 14.3%	2 28.6%	2 28.6%	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	8 100.0%
	合計	272 18.7%	299 20.7%	294 20.3%	299 20.7%	283 19.6%	340 23.2%	156 10.7%	395 27.0%	1,507 100.0%

それぞれの項目を“知っている”と答えた者の数のみ記載

表2 受験資格別にみた看護学専攻修士課程への進学希望

上段：度数(%)

下段：資格要件計に占める進学希望者の割合(%)

		受験資格あり					受験資格なし			総計	
		大卒	保健師	助産師	認定看護師	教員養成研修	小計	なし	不明		小計
進学希望	あり	10 10.5%	1 3.1%	4 7.4%	4 25.0%	1 5.0%	20 9.2%	60 4.7%	1 5.6%	61 4.7%	81 5%
		85 89.5%	30 93.8%	48 88.9%	11 68.8%	18 90.0%	192 88.5%	1,189 93.5%	7 38.9%	1,196 92.7%	1,388 92%
	なし	0 0.0%	1 3.1%	2 3.7%	1 6.3%	1 5.0%	5 2.3%	23 1.8%	10 55.6%	33 2.6%	38 3%
		合計	95 100%	32 100%	54 100%	16 100%	20 100%	217 100%	1,272 100%	18 100%	1,290 100%

表3 受験資格別にみた看護学専攻修士課程への進学希望者の進学を希望する理由(複数回答)

上段：度数(人)

下段：資格要件計に占める各理由の割合(%)

		理由											合計	
		修士の学位が得られるから	学びたいコースがあるから	専門分野の知識を深めたいから	研究の方法を学びたいから	管理職を目指したいから	在職のまま進学できるから	長期履修できるから	通学できるから	職場の支援が得られるから	家族の支援が得られるから	その他		
受験資格	大卒	度数 (%)	6 18.2%	1 3.0%	8 24.2%	1 3.0%	1 3.0%	6 18.2%	1 3.0%	4 12.1%	2 6.1%	3 9.1%	0 0.0%	33 100%
	保健師	度数 (%)	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100%
	助産師	度数 (%)	2 15.4%	2 15.4%	2 15.4%	2 15.4%	0 0.0%	3 23.1%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 100%
	認定 看護師	度数 (%)	3 21.4%	0 0.0%	2 14.3%	2 14.3%	0 0.0%	4 28.6%	0 0.0%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 100%
	教員養成 研修	度数 (%)	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100%
	有資格者 小計	度数 (%)	12 19.0%	3 4.8%	14 22.2%	5 7.9%	1 1.6%	13 20.6%	3 4.8%	7 11.1%	2 3.2%	3 4.8%	0 0.0%	63 100%
	資格なし	度数 (%)	21 14.5%	14 9.7%	40 27.6%	7 4.8%	3 2.1%	32 22.1%	10 6.9%	9 6.2%	2 1.4%	5 3.4%	2 1.4%	145 100%
	不明	度数 (%)	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100%
	無資格者 小計	度数 (%)	22 14.7%	14 9.3%	41 27.3%	8 5.3%	3 2.0%	33 22.0%	10 6.7%	9 6.0%	2 1.3%	6 4.0%	2 1.3%	150 100%
	合計	度数 (%)	34 16.0%	17 8.0%	55 25.8%	13 6.1%	4 1.9%	46 21.6%	13 6.1%	16 7.5%	4 1.9%	9 4.2%	2 0.9%	213 100.0%

表4 進学希望者が希望する専門分野(複数回答)

上段：度数(人)

下段：資格要件計に占める各分野の割合(%)

		進学希望分野											合計	
		がん看護	慢性疾患看護	母性看護	小児看護	老人看護	精神看護	家族支援	感染症看護	地域看護	急性・重症者ケア	在宅看護		
受験資格	大卒	度数 (%)	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	8 100%
	保健師	度数 (%)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100%
	助産師	度数 (%)	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100%
	認定 看護師	度数 (%)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100%
	教員養成 研修	度数 (%)	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100%
	有資格者 小計	度数 (%)	7 43.8%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	3 18.8%	0 0.0%	16 100%
	資格なし	度数 (%)	9 19.6%	1 2.2%	1 2.2%	2 4.3%	7 15.2%	4 8.7%	4 8.7%	1 2.2%	5 10.9%	4 8.7%	8 17.4%	46 100%
	不明	度数 (%)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100%
	無資格者 小計	度数 (%)	9 19.1%	1 2.1%	1 2.1%	2 4.3%	7 14.9%	4 8.5%	4 8.5%	1 2.1%	5 10.6%	5 10.6%	8 17.0%	47 100%
	合計	度数 (%)	16 25.4%	2 3.2%	3 4.8%	2 3.2%	7 11.1%	5 7.9%	5 7.9%	1 1.6%	6 9.5%	8 12.7%	8 12.7%	63 100%

表5 進学希望者が「進学を妨げる」とした理由（複数回答）

上段：度数

下段：資格要件計に占める各理由の割合（%）

		理由							合計	
		学習の場が 近くにない	勤務の調整 が困難で ある	院外での学習に 参加しづらい 雰囲気がある	家族の理解 や協力が 得られない	経済的 に無理	長期にわたる 場合に休職など の身分保障の 仕組みがない	その他		
受験資格要件	大卒	度数 (%)	3 15.8%	7 36.8%	1 5.3%	1 5.3%	5 26.3%	2 10.5%	0 0.0%	19 100%
	保健師	度数 (%)	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100%
	助産師	度数 (%)	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	0 0.0%	10 100%
	認定 看護師	度数 (%)	0 0.0%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	9 100%
	教員養成 研修	度数 (%)	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100%
	有資格者 小計	度数 (%)	6 13.6%	14 31.8%	4 9.1%	2 4.5%	9 20.5%	9 20.5%	0 0.0%	44 100.0%
	資格なし	度数 (%)	23 20.0%	29 25.2%	3 2.6%	6 5.2%	25 21.7%	23 20.0%	6 5.2%	115 100%
	不明	度数 (%)	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100%
	無資格者 小計	度数 (%)	23 19.8%	30 25.9%	3 2.6%	6 5.2%	25 21.6%	23 19.8%	6 5.2%	116 100.0%
	合計	度数 (%)	29 18.1%	44 27.5%	7 4.4%	8 5.0%	34 21.3%	32 20.0%	6 3.8%	160 100.0%

表6 受験の有資格者が進学を希望しない理由（複数回答）

	度数	全回答数に 占める割合	
進学を希望しない理由	大学院に行くことに価値を置いていないから	54	16.3%
	在職のまま進学するための制度が整っていないから	43	13.0%
	遠くて通学できないから	40	12.1%
	魅力がないから	36	10.9%
	学びたいコースがないから	26	7.9%
	専門看護師などの専門的な資格が取れないから	24	7.3%
	大学院入学資格がない（と思っていた）から	20	6.0%
	家族の理解・支援が得られないから	19	5.7%
	2年は長すぎるから	18	5.4%
	在職のまま進学できる制度はあるが職場の理解・支援が得られないから	10	3.0%
その他	41	12.4%	
合計	331	100.0%	

進学の妨げとなっている要因

修士課程への進学希望者に複数回答を求めた、進学を妨げている主な理由は、「勤務調整が困難」44名、「経済的に無理」34名、「長期休職など身分保障の仕組みがない」32名、「学習の場が近くにない」29名で、職業生活を継続しながら教育機会を得ることの困難さを挙げていた。(表5)

(3) 進学を希望しない修士課程受験有資格者の背景

進学を希望しない理由

大学院受験資格を有しながら本学への進学を希望

しない192名の、進学を希望しない理由の複数回答の内訳は、「大学院に行くことに価値を置いていない」54名、「在職のまま進学するための制度が整っていない」43名、「遠くて進学できない」40名、「魅力がない」36名、「学びたいコースがない」26名、「CNSなどの専門的な資格が取れない」24名、「受験資格がない（と思っていた）」20名などであった。(表6)

キャリア・プラン

大学院受験資格を有しながら本学への進学を希望しないとした192名の今後のキャリア・プランにつ

表7 受験の有資格者で進学を希望しない者のキャリア志向（複数回答）

		度数	全回答数に占める割合
キャリア志向	定まっていない	80	33.5%
	特定の看護実践分野でのスペシャリスト	53	22.2%
	考えていない	48	20.1%
	ジェネラリストとしての実践能力の向上	23	9.6%
	看護管理者	15	6.3%
	教育・研究者	11	4.6%
	その他	9	3.8%
合計		239	100.0%

いては、どのような方向に進みたいのかが「定まっていない」80名、「考えていない」48名など明確なキャリア志向がない者も多い一方、本学以外の教育機関での「特定の看護実践分野でのスペシャリスト」を志向するとした者が53名、「看護管理者」を志向するものが15名、「教育・研究者」を志向する者が11名存在した。（表7）

#### IV. 考 察

大学院をキャリア構築の場として選択する看護師は少ないという結果の背景には、まず、文科省、厚労省、日本看護協会等が行う看護職の生涯教育が、長らく3年課程の専門学校を看護基礎教育モデルとして展開されてきたため、大卒者の生涯教育の差別化が進展していないことが挙げられる。都市部に比べて大卒者の占める割合が低い島根県においては、その傾向がより顕著であると推測される。

一方、受験資格があるにもかかわらず、「学びたいコースがない」「魅力がない」「価値がない」などの理由で、本学大学院修士課程でのキャリア構築に否定的な看護

師も存在することは、看過できない問題である。看護学科開設から10年、看護学専攻終始課程開設から4年が経過したにもかかわらず、修士課程の認知度が低いことから、地域のニーズに対応した専門分野やコースの充実を図りつつ、本学のアピールを行うことが急務である。また、職場の理解や支援が受けられないために、進学をあきらめている看護師が少なからず存在することは、本人のみならず、地域の医療・看護の質向上を図る上で大きな損失である。院内教育での教育支援には限界のある中堅以上の看護師のキャリア発達を、組織として支える仕組み作りと、それをリードする管理者の意識変革への働きかけが重要と考える。

#### V. 結 論

島根県下の病院に就業中の看護師1,507名のキャリア・ニーズの実態を調査した結果、スペシャリストや管理者等へのキャリア志向がある者が40%弱存在するにもかかわらず、修士課程をキャリア構築の場として選択する看護師は少なかった。修士課程教育内容の充実とアピール、就学支援の仕組みづくりが急務である。

（受付 2008年 8月29日）